

第6学年 道徳学習指導案

指導者 高田 健治

1 日 時 平成23年10月26日(水) 公開授業Ⅱ

2 学年・学級 6年1組 20名

3 主題名 「よい校風のため」 内容項目 4－(6)

4 ねらい 創立20周年記念式典の児童代表の挨拶文作成の姿を通して、学校をよりよくしていきたいという先輩の気持ちに気づかせ、進んでよい校風を作り守っていこうとする心情を育てる。

5 資料名 「たかしくんの笑顔」 (自作資料)

6 主題設定の理由

○ 主題観

児童を取り巻く現代社会は、社会全体や他人のことを考えず、専ら個人の利害損得を優先したり、夢や目標に向けた努力、特に社会をよりよくしていこうとする真摯な努力が軽視されたりする社会的風潮が生まれ、社会全体の規範意識を低下させ、児童本来が持っている、よりよく生きようとする力をも弱めさせかねない状況にある。

本主題は、学校や学級の集団との関わりに関するものであり、先生や学校の人々を敬愛し、学校を愛する心をもった児童を育てようとする内容項目である。最上級生としての役割を一層自覚し、その責任の重大さを理解するとともに、日常の活動を通して、学校に愛着を持てるようにして、みんなで協力して学校をよりよくするために積極的に取り組もうとする態度を育て、具体的に実践できるように指導していきたい。そうすることで、校風を担っている自分への気づきと学校への敬愛の念が一層深められると考える。

○ 児童観

本学級の児童は、優しく、素直である。言われたことは素直に受け入れ、取り組もうとする。しかし、いやな思いをしてでも、進んで人のために活動するところまでには至っていない。また、あと5ヶ月で卒業を迎えるこの時期の児童は、最高学年として校内における集団生活のリーダーの経験も持ち、属している学級・学校における自分の役割や責任を深く自覚している。しかし、なんとなくその日その日を過ごしていて、本来あるべき、自分たちが学校の中心と自覚し、自らみんなで協力し、よりよい学校にしようという態度までは至っていない。団地にある学校という地域性からか、昔ながらの伝統として守るべき行事等は少ないが、今まで気づかなかった学校の先輩たちが作り上げきたことを振り返ることで、よりよい学校に自分たちがしていくという自覚を持ち、実践させ、将来、またこの宮園小学校を育てる地域の人として見守る意欲を持たせるような取組をしたい。

○ 指導観

本資料は、昨年行われた創立20周年記念式典での児童代表挨拶をもとに、その作文を作る中で主人公が考えたことをもとに作成した内容である。具体的には、創立20周年記念式典の挨拶をすることとなった時、なにを話すか全く考えがなかった主人公が、友達と共に20年前のアルバム文集を見ながら、話し合い、自信を持って挨拶をする姿を描く。特に、20年前の文集を読みながら自分たちの作り上げている校風＝よりよくしようとしている伝統に気づかせ、よりよい学校を作り上げる心情を高めたい。

指導に当たっては、状況を的確に捉え、自分の意見を明確に持たせるために、ペアトークを活用

し、自信をもって発言できるようにしたい。よりよい校風を考えさせる手立てとして、昨年の創立20周年記念式典の挨拶を考える際、友達の一言から自分の生活を振り返り、そのがんばりに気づく姿を話し合い、中心発問につなげたい。中心発問では、はじめ不安だった主人公がやる気を持てた姿から、母校をよくしていこうとする心情について、「ぞんぶんに話し合い」、ねらいに迫っていききたい。また、資料の続きを提示し、主人公の確かな決意を想像することにより、ねらいを自分の言葉で語らせたい。最後に、本校先輩でもある、今年教育実習生に自らの体験や学校の伝統について語っていただき、これからどのようによりよい学校としていくか、自分の生活を振り返ることで、ねらいに迫っていききたい。

特に、体験の生かし方、取り入れ方としては、下記の通りとする。

導 入・・・20年前の卒業生の写真や創立20周年記念式典の挨拶の写真を見て、記念式典の挨拶を思い起こし、その時はただ聞いている立場であった自分が、この卒業生達と同じ立場にいることに気づかせ、学習意欲につなげたい。

展開前段・・・主人公の心情の変化について共感させながら、自分が実際に学校やみんなのために行った体験と関わらせながら、主人公の発言の根拠を考えることで、道徳的価値に気づかせたい。

展開後段・・・生活の振り返りの際、「よりよい学校にしようと思うことがありますか。それはどんなことですか。」と発問することで、自分の体験を出し合ったり、主人公から学んだことを話し合ったりさせたい。特に、日頃から何気なく行っている活動に気づかせ、その意義をあらためて考えることで、主人公と同じように学校への愛着を感じさせ、これから自分たちの手でよりよくしていこうとする心情を育てたい。

そして、宮園小オリジナル「心のノート」を活用して、自分の体験を振り返らせる。また、継続した書き込みができる欄を設け、本時のみに終わることなく、実生活の場で生きるよう取り組んでいきたい。

終 末・・・ゲストティーチャーとして、本校の卒業生でもある、教育実習生から母校への思いを語ってもらう。その話を自分の体験と重ね合わせることで、みんなで協力し、よりよい校風を作る意欲を持たせたい。

7 言語活動の充実に向けて（みやぞの響きあいプランの具体的な活用）

⑦ みんなが考えを持つ	役割演技を行い、状況把握をするとともに、たかし君とこう君の立場に立ち、その心情を考える。 役割演技後にインタビューし、2人の心情を想像させる。
⑧ さしく聞き合う	自分が「よりよい学校にするために」行ったことについて、クラストークで、やさしく聞き合うことにより、いろいろな考えに出会わせ、道徳的価値について理解を図る。
⑨ ゑんぶんに話し合う	(指導過程に提示)
⑩ ートやワークシートにまとめ深める	中心発問と振り返りにおいて、時間を確保し、ワークシートや宮園小オリジナル「心のノート」を活用して、自分の考えを明確にさせる。自分の生活を見つめさせ、自分との関わりで道徳的価値をとらえさせる。

8 準備物

短冊，場面絵，ワークシート，宮園小オリジナル「心のノート」，写真

9 総合単元的な道徳学習構想図

総合主題名		よりよい校風を作り守ろう	実施期間	平成 23 年 9 月～11 月
めざす子ども像		学校に愛着を持ち、 進んでよりよい校風を作り守っていこうとする子	中心項目 関連項目	4－（6）愛校心 4－（3）社会的役割の自覚と責任 4－（4）勤労・奉仕
体験に視点をあてた活動 教科・特別活動・総合他		体験に視点をあてた道徳の時間		児童の意識の流れ
②特別活動 「生活を見つめ直そう」 学校生活を振り返ることを通して、何のために行っているのか、どのようにすれば、よりよいのか話し合う中で、進んで活動しようとする態度を育てる。 4－（3）社会的役割の自覚と責任		①主題名 「みんなの中の自分」 内容項目 4－（3）社会的役割の自覚と責任 資料名 『あの日のわたし』と『今のわたし』 ねらい これまでと今の「わたし」の考えの違いを考えることを通して、みんなと協力し、成し遂げることの大切さに気づかせ、身近な集団の中で自分の役割と責任を主体的に果たそうとする心情を育てる。		① 自分が一生懸命になり、役割と責任を果たすと大きな達成感が得られるし、大切なことだな。 ② 学校 みんなが生活しやすいための活動にしたいな。もっと明るく、いつも、先に、あいさつできるためのお手本になろうよ。
④特別活動 「『VOICE2011』に向けて」 「今自分のできること」と題した意見文を作成し、交流することを通して、よりよく生活するために、今、自分が出来ることを実践することの大切さに気づかせ、意欲を持って学校生活をよりよくしようとする態度を育てる。 4－（3）社会的役割の自覚と責任		③主題名 「よい校風のため」(本時) 内容項目 4－（6）愛校心 資料名 「たかしくんの笑顔」 ねらい 創立 20 周年記念式典の児童代表の挨拶文作成の姿を通して、学校をよりよくしていきたいという先輩の気持ちに気づかせ、進んでよい校風を作り守っていこうとする心情を育てる。		③ 今行っている活動は、宮園小の伝統として作られたんだ。これからも受け継ぎ、もっとよい学校にしていこうと思う。 ④ みんな今できることを真剣に考えているんだ。みんなで心を 1 つにして実践すれば、必ずよりよい学校になるぞ。
⑥日常活動 「委員会・係活動など」 日常生活、委員会活動や当番活動などを通して、身近な所から自分のできる範囲で、よりよい学校のためにできることから行うことができる。 4－（6）愛校心		⑤主題名 「働くことの意味」 内容項目 4－（4）勤労・奉仕 資料名 「母の仕事」 ねらい 仕事の様子を話す母と娘のやりとりを通して、働くことの意味や喜びに気づかせ、社会のために奉仕する喜びを知って、公共のために尽くそうとする態度を育てる。		⑤ みんなのために頑張る姿に、自分もやろうという勇気がわいてきた。これからは進んでみんなのために頑張ろうと思う。 ⑥ 今やっている活動等をもっと意欲的に行うぞ。他にも自分の出来る活動を探してみたくなった。
学校に愛着を持ち、進んでよりよい校風を作り守っていこうとする子				

10 指導過程

段階	学習活動	おもな発問と児童の心の動き	指導上の留意点	体験を言葉で生かす指導 ☆体験を引き出す発問
導入	1 本時の価値への意欲を高める。	○ 創立20周年記念式典の児童代表挨拶や20年前の卒業生の写真を見て、感じたことを発表しよう。 ・ なつかしい。古そう。 ・ すごい。 ・ 堂々としていたよね。笑顔がいいな。	○ 価値への方向性を持たせる。	○ 昨年の式典の挨拶を思い起こさせると同時に、同じ年齢になっていることに気づかせる。
展開前段	2 資料を読んで話し合う。	○ 式典の挨拶をすることになったたかし君は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ・ なにを言ったらいいかわからない。 ・ しかたないなあ。だれかに相談しよう。 ・ 頑張って作りたいけど、イメージがわからないな。 ○ 20年前の卒業生の文集を読んで、たかし君はどんなことが参考になりましたか。 ・ 真新しい校舎でうれしいことばかりだと思ったけど、大変なこともあるんだな。 ・ ゼロからのスタートは苦労が多かったんだな。 ・ よりよい学校にするために頑張っていたんだな。 ◎ はじめ不安だったたかし君が、どうしてやる気が出てきたのでしょうか。	○ 場面絵を提示しながら読み聞かせし、悩んでいる主人公の状況をおさえる。 ○ 状況把握をするために、たかし君やこう君の会話や場面絵を掲示しながら読み進め、不安な主人公の心情に共感する。	○ 同じように学校の代表として活動するときの悩みに共感できるよう似た経験がないか自問させる。 ☆ 今まで代表挨拶をすることになって困ったことはないかな。 ○ 20年前の卒業生の心情に迫るため、ゆさぶりを発問をする。 ☆ 同じように大変なことがあると、どんな気持ちになるかな。 ○ やる気が出てきたたかし君が何に気づいたのか想像させ、ねらいに迫る。 ☆ 意見文「自分が今できること」を書くときに同じようなことはなかったかな。

① ぞんぶんに話し合う。

価値に関わる児童の反応を掘り下げることにより、「VOICE2011」の意見文作成の心情を思い起こさせたり、友達の意見と比較したりしながら、母校を愛し、よりよくしていこうとするたかし君の気持ちについて話し合う。

〈子どもの姿〉

苦労して作り上げた卒業生の思いを理解し、宮園小学校のことを大切に考え、みんなでよりよい学校にしていこうとする気持ちを持つことができる。

		・こう君の話がよかったから。 ・あいさつ文の中身が見つかったから。 ・自分たちも頑張っていることに気づいたから。 ・学校のよさが見つかった。 ・大好きな宮園小学校のことをまとめてみたくなったから。 ・学校をよくしている自分に気づいたし、そんな宮園小学校が大好きだから。 ○ 先生としっかり握手を交わしたたかし君は、どんな気持ちだったでしょうか。 ・頑張って発表してよかった。 ・頑張ろうという決意でいっぱい。 ・宮園小学校をよくしていこうと真剣に思っている。 ・今の自分たちに自信を持ち、もっとよりよい最高学年、よりよい学校にしていこう。	○ ワークシートに自分の考えをまとめ、自分の意見を明確にする。 ○ ペアトークを行い、やる気になったたかし君の心情に、迫りたい。 ○ 発表を終えた後の様子を知り感じたことを発表する。 ○ 資料の最後の場面（発表を終えた主人公が、20年前の卒業生と同じ笑顔で先生と握手する姿）を考えさせる。	
展開後段	3 生活を振り返る。	○ よりよい学校にするために、どんなことをしてきましたか。それはどうしてですか。 ・今まであまり考えたことがなかった。 →やらないといけないから。 ・1年生のお手本を頑張ってきた。 →1年生が喜んでくれたのが、うれしかった。 ・挨拶運動のお手本として校門で挨拶をした。 →挨拶の良さを感じたし、今までの卒業生もしていたから。 ・委員会活動を欠かさず頑張った。 →今までの卒業生も受け継いだ内容を私たちもしっかり受け継ぎ、伝えていきたい。	○ 宮園小オリジナル「心のノート」を活用し、自分の生活を見つめさせ、ねらいとしている道徳的価値と自分の体験とを結びつける。 ○ 日頃から何気なく行っている活動について、その意義を考えさせることで、ねらいに迫りたい。	○ 展開後段と自分の体験をつながけながら生活を振り返らせる。 ○ これからも自分から進んでやったことを書き込む意欲を持たせる。

終末	4 ゲストティーチャーの話 を聞く。	○ 宮園小学校の先輩でもある教育実習 の先生の話の聞きましょう。	○ ゲストティー チャーの話から よりよい校風を 作るためにみん なで協力し、で きる意欲を持た せる。	○ 先輩との出会 いを大切にし、 先輩の話から自 分の体験と重ね あわせて、振り 返りをさせる。
----	-----------------------	-------------------------------------	--	---

1 1 板書計画

宮園小オリジナル
「心のノート」の提示

よりよい学校にするために、どんなことをしてきましたか。

 ・今まであまり考えたことがない。
 ・あいさつをした。↓新しい伝統に
 ・委員会↓伝統。等

先輩
教育実習生
ゲストティーチ
ャーの話

場面絵 ①

・会話文

・これからの決意を胸に先生としつかり握手を
 交わした。
 ・がんばって発表してよかった。
 ・宮園小をよくしていきたい。
 ・自分たちの力でもっとよいものに。

場面絵②

・会話文

たかし君がやる気が出てきたのはどうしてですか？

 ・自分たちががんばっていることに気づいたから。
 ・大好きな宮園小学校のことをまとめてみたい。

 ・ゼロからのスタートは苦労が多かったんだな。
 ・よりよい学校にするためにがんばっていたんだな。

二十年前の文集を読んだたかし君は、
 どんなことが参考になったか。

たかし君

・なにを言ったらよいかわからない。
 ・がんばろうと思うけど・・・

たかし君の笑顔

創立20周年記念式典

 児童代表の
挨拶の写真

 二十年前の
卒業文集・写真